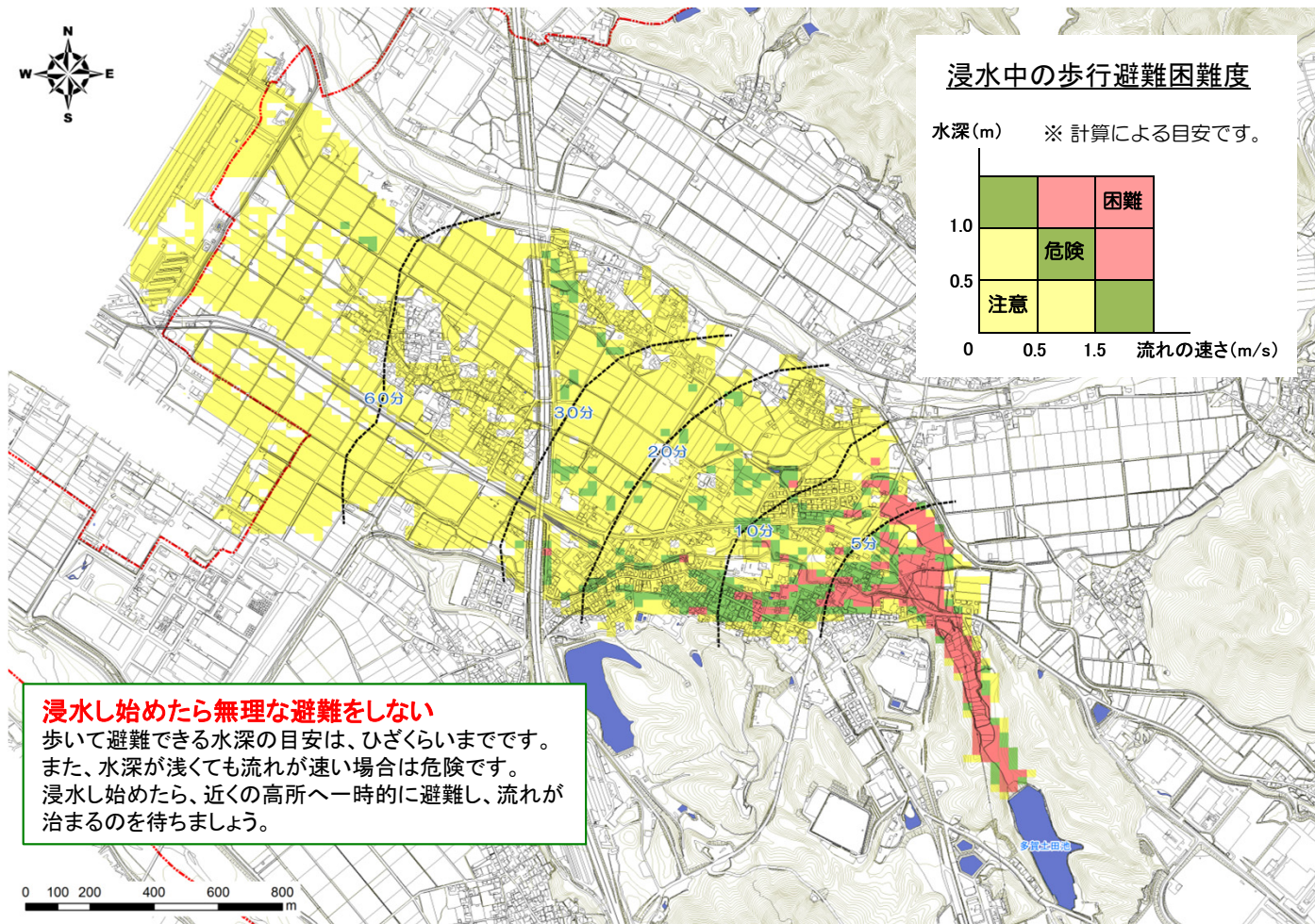


□ 水深が浅い場合でも水の流が速いと危険です！

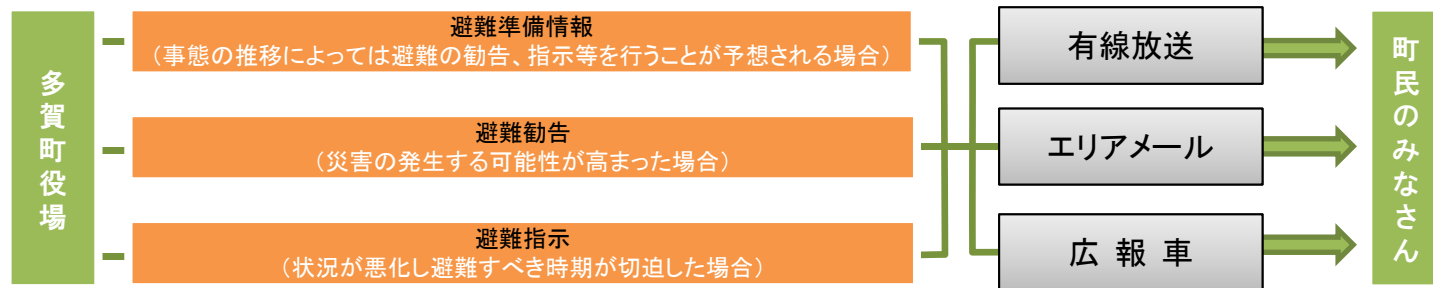


浸水し始めたら無理な避難をしない
 歩いて避難できる水深の目安は、ひざくらいまでです。
 また、水深が浅くても流れが速い場合は危険です。
 浸水し始めたら、近くの高所へ一時的に避難し、流れが治まるのを待ちましょう。

□ 避難に備え早めの情報収集を行いましょ。

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
滋賀県防災ポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	http://www.pref.shiga.lg.jp/bousai/
滋賀県土木防災情報システム	県内の気象情報や注意報・警報の発表状況など	http://shiga-bousai.jp/ (携帯サイト) http://shiga-bousai.jp/mobile/ (スマートフォンサイト) http://shiga-bousai.jp/sp/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	http://www.river.go.jp/
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	http://www.jma.go.jp/jma/index.html

□ 町役場から呼びかける避難情報



気象状況などにより避難情報が聞こえない場合や、伝達が間に合わない場合もありますので、身の危険を感じたら早めに避難して下さい。

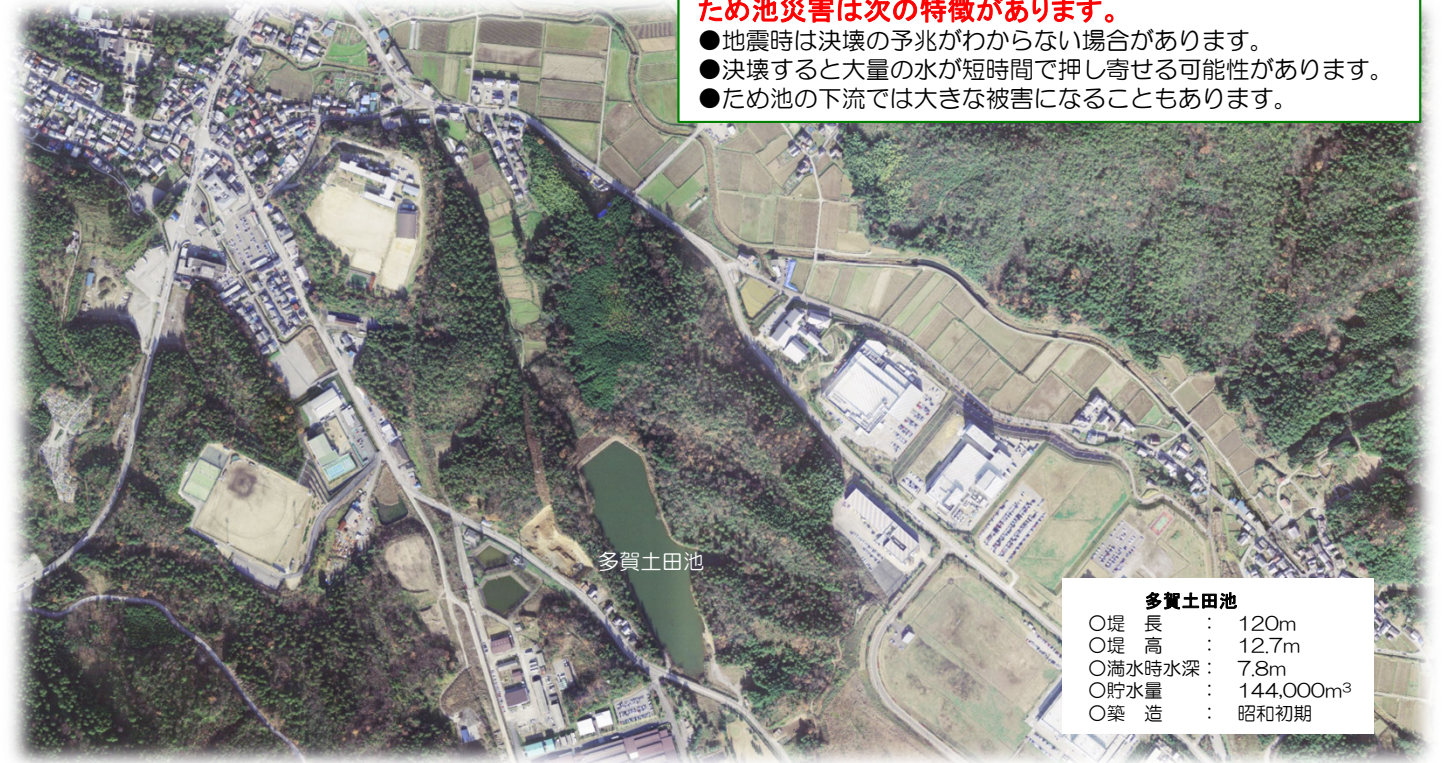
【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】

多賀町役場 TEL (0749)48-8111 (代) ホームページ <http://www.tagatown.jp/>
 〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀324

保存版

多賀町ため池ハザードマップ (多賀土田池)

この「ため池ハザードマップ」は、多賀土田池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



【多賀土田池の現状】

この池は、農業用水を確保することを目的として、昭和初期に谷をせき止めて築造されました。現在ではその豊富な貯水量と自然環境によって、利水はもとより動植物の生息・生育環境として貴重な役割も担っています。しかし、近年では施設の老朽化もみられ、施設の耐用能力を超える大雨や大規模な地震が発生した場合、堤防が損傷を受け決壊に至る可能性もあります。万が一ため池が決壊した場合、池の下流には一度に大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。現在は堤防上から2.5m水位を下げ、決壊の危険性を低減させる管理をしています。

□ ため池ハザードマップの活用方法 (急な事態へ備えましょ)

【1】想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょ。

- ・危険度やはん濫水の到達時間に応じた避難を考えましょ。
- ・災害時の様々な事態をイメージしましょ。



【4】日頃から家族や地域で話し合いましょ。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょ。
- ・避難の際に支援が必要な要援護者への情報伝達や補助内容を決めておきましょ。



【2】避難場所を決めておきましょ。

- ・危険度やはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょ。
- ・危険度Ⅲの区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょ。
- ・家族の連絡先を確認しておきましょ。



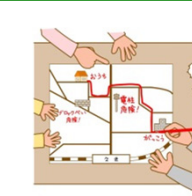
【5】防災情報の入手先を確認しておきましょ。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょ。



【3】避難場所までの避難経路を考えましょ。

- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょ。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょ。



【6】町の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・多賀町洪水ハザードマップには、大雨に伴う河川のはん濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょ。

